



とねしょうかわらばん

がつ にちぼん
11月11日版



ひだり しゃしん ねんせい こくごきょうざい
左の写真は、4年生の国語教材
「くらしの中の和と洋」という説
めいぶん がくしゅう よ と がくしゅう
明文の学習で読み取り学習をし
あと わ よう ちが たんきゅう
た後、和と洋の違いを探求する
とくく しら がくしゅう おこな
取組みとして調べ学習を行って
いるところです。



ひだり しゃしん ねんせい りか
左の写真は6年生の理科「土
地のつくりと変化」で学習中
の内容を掘り下げ、より充実
ないよう ほ さき じゅうじつ
した学習になるよう調べ
がくしゅう しら
学習に取り組んでいるところ
です。

これまで豊中市の小学校には、全学年が使いたい時に使えるパソコンの台数は確保され
ておらず、また、写真にあります児童用のタブレットは、1クラスの半分ぐらいの台数で
あるため、これも使いたい時に使える状況ではありません。よって、これまでは各学年
クラスが譲り合って使用していたため、子どもたちにじっくり時間を与えて学習させるこ
とは困難でした。

しかし、まもなく刃根山小学校にも一人一台iPadが市教委から導入されます。まずは11月
18日に6年生分が導入され、年明け1月以降
1年生から5年生分が導入される予定です。現在、
教職員は来る一人一台iPad導入に向けて、ど
のような授業展開が可能か、日々研修・検討を
進めています。一人一台iPadが導入されれば、
これまで実施できなかった様々な授業展開が可能になります。子どもたちが必要な時に
必要なだけ情報を仕入れ、自分の学習に活かしていったり、必要なドリル学習を
進めたり・・・そんな新しい授業スタイルも、もう目の前に来ています。

